

令和4年度障害者スポーツ推進プロジェクト
(地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業)
事業成果報告書

2023年3月

岩手県

本報告書は、スポーツ庁の障害者スポーツ推進プロジェクトとして、岩手県が実施した「令和4年度障害者スポーツ推進プロジェクト（地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業）」の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

目次

- 1 事業趣旨
- 2 事業実施の背景
 - (1) 実施状況
 - (2) 解決すべき課題
 - (3) 解決に向けた目標
 - (4) 取組内容（実施内容の概要）
 - (5) 成果指標の設定
- 3 事業内容
 - (1) 地域実行委員会
 - (2) 指導員養成
 - (3) 体験教室・練習会
 - (4) 交流大会
- 5 成果と課題
 - (1) 成果・成果指標・実績
 - (2) 課題と対応
- 6 今後の方向性

1 事業趣旨

岩手県では、「岩手県スポーツ推進計画(2019～2023)」に基づき、共生社会型スポーツの推進として、障がいのある人もない人も、性別や年齢に関わらず、共にスポーツを楽しむ機会が拡大するとともに、県民の誰もが互いを理解・尊重しながら生きる社会の実現を目指している。

そのことから、本事業では、障がいのある人もない人も共に楽しめるインクルーシブスポーツであるポッチャと卓球バレーの2種目を通じて、地域推進体制の構築、指導員の養成、体験教室・練習会・交流大会を県内各地域で進めていく。

これにより、障がいのある人もない人も、地域でスポーツ活動に親しみ、インクルーシブスポーツを継続して楽しむことができる機会の充実を図るもの。また、インクルーシブスポーツを通じて、地域のネットワークを構築し、参加者の拡充を目指すもの。

2 事業実施の背景

(1) 実施状況

○卓球バレー交流大会開催実績

委託先：(一社)岩手県障がい者スポーツ協会

R 1 (1地域開催)	R 2 (2地域開催)	R 3 (3地域開催)
県央開催：196名参加	県央開催：129名参加	県央開催：152名参加
	沿岸開催：113名参加	沿岸開催：86名参加
		県北開催：86名参加

○岩手県障がい者スポーツ大会開催実績

委託先：(一社)岩手県障がい者スポーツ協会

R 1	R 2	R 3
1,517名参加	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止	536名参加

(2) 解決すべき課題

今まで、(一社)岩手県障がい者スポーツ協会を通じて、障がいのある人もない人も対象とした「卓球バレー交流大会」を開催し、開催地域を増やししながら参加者数を拡充してきたが、地域で主体的に行う体制が構築されず、練習会や体験教室など地域での継続的な取組として定着していないことが課題である。

東京オリンピック・パラリンピックの開催により、全県的にパラスポーツへの関心と理解が高まったことにより、障がいのある人もない人も共に楽しむスポーツを推進する好機となったことから、障害のある人もない人も身近にパラスポーツを楽しめる環境を整備していく必要がある。

(3) 解決に向けた目標

- ① 持続性のある体験教室や練習会を身近な地域で行うことにより、インクルーシブスポーツに取り組む機会を創出し、参加した障がいのある人のスポーツ実施への関心を高める。
- ② 交流大会を目指した練習に取り組むことで、参加者のモチベーションの向上につなげ、大会後も「またやろう」「もっとやりたい」「次はこれをやりたい」という機運を醸成する。
- ③ 地域の担い手となる総合型地域スポーツクラブ、地域のスポーツ推進委員、福祉事業所等を中心としたネットワークを拡大し、地域主体による練習会、大会等を開催しながら、地域で主体的・

継続的な推進体制づくりにつなげる。

(4) 取組内容（実施内容の概要）

- ① 総合型地域スポーツクラブ、市町村（スポーツ推進委員等）、福祉事業所、市町村等による地域推進体制（地域実行委員会）を整備し、指導員を養成する。並行して、体験会や練習会等に地域の障がいのある人、障害のない人への参加を呼び掛けることで、地域のネットワークを構築し、参加者の交流の輪を広げる。
- ② 交流大会を目標として、体験教室や練習会を持続的に取り組む要因とする。
- ③ 障がいのある人だけでなく、障がいのない人も参加の輪に加え、活動人数を充実させるとともに、地域における障がい者スポーツの機運を醸成する。

(5) 成果指標の設定

本事業による地域推進体制整備の取組の成果として次の指標を掲げる。

	R 4（2地域）	R 5（3地域）	R 6（4地域）
指導員養成数（累計）	3人	6人	9人
ポッチャ・卓球バレー 教室等開催回数（回/年）	4回	6回	8回
ポッチャ・卓球バレー 交流大会開催回数（回/年）	4回	6回	8回
ポッチャ・卓球バレー 交流大会参加者数	200人	300人	400人

3 事業内容

障がいのある人もない人も一緒に取り組むことができるポッチャと卓球バレーをとおして、(1)地域実行委員会、(2)指導員養成講習会、(3)体験教室・練習会、(4)交流大会を県内各地で進めることにより、障がいの有無や年齢、性別を問わず、地域でスポーツ活動に親しみ、インクルーシブスポーツを継続して楽しむことができる機会の充実を図る。

(1) 地域実行委員会

各地域でインクルーシブスポーツの担い手となる関係団体による推進体制を構築。持続的な取組に向け、地域におけるインクルーシブスポーツの普及に向けた課題検討、参加者の拡充、指導員養成、体験教室・練習会、交流大会等を推進。

①	県央（盛岡市） 令和4年9月10日（土） 岩手県勤労身体障がい者体育館
	内容：ポッチャ交流大会開催要項検討（資料1） 委員9名、事務局2名
②	沿岸（大船渡市） 令和4年12月3日（土） 大船渡市民体育館
	内容：ポッチャ交流大会開催要項検討（資料2） 委員10名、事務局2名
③	県央（盛岡市） 令和4年10月15日（土） ふれあいランド岩手
	内容：卓球バレー交流大会開催要項検討（資料3） 委員7名、事務局2名

	沿岸（久慈市） 令和4年7月19日（火） 久慈市情報交流センター
④	内容：地域推進体制の構築検討（資料4）、卓球バレー交流大会開催要項検討（資料5） 委員7名、事務局2名

(2) 指導員養成

指導員講習会を開催し、ボッチャと卓球バレーの活動の中心となる指導員を養成し、地域のスポーツ振興のキーパーソンを確立。

	県央（盛岡市） 令和4年9月10日（土） 岩手県勤労身体障がい者体育館
①	内容：ボッチャ指導員養成 参加者8名、事務局2名
	沿岸（大船渡市） 令和4年9月10日（土） 岩手県勤労身体障がい者体育館
②	内容：ボッチャ指導員養成 ※ 大船渡市のスポーツ推進委員を対象に盛岡市で開催 参加者2名、事務局2名
	県央（盛岡市） 令和4年10月15日（土） ふれあいランド岩手
③	内容：卓球バレー指導員養成 参加者16名（内プレーヤー12名）、事務局2名
	沿岸（久慈市） 令和4年7月24日（日） 久慈市民体育館
④	内容：卓球バレー指導員養成 参加者15名（内プレーヤー12名）、事務局1名

(3) 体験教室・練習会

	県央（盛岡市） 令和4年8月21日（土） 見前南地区公民館
①	内容：（一社）岩手県障がい者スポーツ協会により、ボッチャ体験教室を実施 参加者15名、指導者2名
	沿岸（大船渡市） 10月2回、11月1回 福祉の里センター、大船渡市民センター
②	内容：大船渡市のボッチャ交流大会実行委員会委員により、ボッチャ体験教室を実施 参加者のべ60名、指導者のべ6名
	県央（盛岡市） 令和4年10月2日（日） ふれあいランド岩手
③	内容：（一社）岩手県障がい者スポーツ協会により、卓球バレー体験教室を実施 参加者20名、指導者2名
	沿岸（久慈市） 令和4年9月11日（日） 久慈市民体育館
④	内容：卓球バレー久慈交流大会実行委員会委員により、卓球バレー体験教室を実施 参加者12名、指導者4名

※ 各地域における自主的な取組として、スポーツ推進委員や福祉事業所等を中心に、ボッチャと卓球バレーの練習会を開催している（実数なし）。

(4) 交流大会

	県央（盛岡市） 令和4年9月10日（土） 岩手県勤労身体障がい者体育館
①	内容：『第1回岩手県ボッチャ交流大会』（資料6） 参加選手48名（内障がいのある選手22名）、役員・審判・事務局10名

	  <p style="text-align: right;">新聞掲載記事</p>
②	<p>沿岸（大船渡市） 令和4年12月4日（日） 大船渡市民体育館</p> <p>内容：『第3回大船渡さんまカップ（ボッチャの部）』（資料7）</p> <p>参加選手83名（内障がいのある選手41名）、役員・審判・事務局15名</p>
③	<p>県央（盛岡市） 令和4年10月16日（日） ふれあいランド岩手</p> <p>内容：『岩手県卓球バレー交流大会2022』（資料8）</p> <p>参加選手124名（内障がいのある選手63名）、役員・審判・事務局18名</p>
④	<p>沿岸（久慈市） 令和4年10月9日（日） 久慈市民体育館</p> <p>内容：『卓球バレー久慈交流大会2022第4回あまちゃんカップ』（資料9）</p> <p>参加選手62名（内障がいのある選手19名）、役員・審判・事務局37名</p> 

4 成果と課題

(1) 成果・成果指標・実績

- 今年度から実施したボッチャ交流大会では、障がい当事者と支援者や家族が一緒のチームで出場するケースが多くみられた。障がい当事者が、支援者や家族とともに楽しみながら取り組んだことは、「またやろう」「もっとやりたい」という機運醸成につなげることができた。
- 久慈市では、実行委員会への市福祉担当課の参加や、交流大会への市長や教育長の出席があった。岩手県障がい者スポーツ協会を中心とした地域のネットワークが構築されてきており、前事

業で課題だった、地域で主体的に行う体制の構築に向けて、市町村との連携が強化された好事例と考えられる。

- 参加者の多様性に配慮した事業内容にするため、誰でも参加できる参加形態とした。福祉事業所によっては、利用者の余暇活動として参加できるハードルの低さとなった。
- 成果指標・実績

	R 4 (2地域)		実績
指導員養成数(累計)	3人	→	17人
ポッチャ・卓球バレー 教室等開催回数(回/年)	4回	→	6回
ポッチャ・卓球バレー 交流大会開催回数(回/年)	4回	→	4回
ポッチャ・卓球バレー 交流大会参加者数	200人	→	317人

- 市町村の社会福祉協議会やスポーツ推進委員を中心に、ポッチャの指導員養成の参加者が多くなっていることから、ポッチャへの関心が高まっていることがわかる。身近な地域でインクルーシブスポーツに取り組むことができる機会が創出されることに期待が持てる結果となった。
- 沿岸地域において、地域のスポーツ推進委員を中心に体験教室が実施されたことは、地域独自の活動が展開されてきていると考えられる。

(2) 課題と対応

- 地域の小中学校、高等学校、特別支援学校からの参加が少なかった。各学校へ直接事業を案内する等周知を強化していく。特に特別支援学校との連携強化を図りたい。
- 交流大会の円滑な運営にはさらなる指導者（審判）の養成が必要である。特別支援学校教員をターゲットに指導者養成講習会の周知を強化していく。
- スポーツ未実施者へのアプローチができていたか、初参加者の把握が不十分だった。関係団体（市町村の障がい者団体、民生委員等）と連携し地域の障がい当事者の状況を把握していく。
- 参加者へのアンケート調査が実施できなかった。次年度は確実に実施し、選手やスタッフの声を今後の事業展開に活用していく。

5 今後の方向性

- 令和4年度は県央、沿岸の2地域で開催、令和5年度は県央、沿岸、県北の3地域で開催、令和6年度は県央、沿岸、県北、県南の4地域で開催と開催地域を拡充していく。
- 岩手県、（一社）岩手県障がい者スポーツ協会、地域まちづくり組織、市町村等との連携により、インクルーシブスポーツの活動情報を発信し、一般への理解と活動機運を醸成していく。
- 地域実行委員会のネットワークや市町村、地域の障がい者団体、民生委員等と連携し、スポーツ未実施者へアプローチしていく。

第 1 回岩手県ボッチャ交流大会 開催要項 (案)

1 趣旨

ボッチャは誰もが取り組みやすいパラスポーツとして関心が高まっている。この動きを捉え、自治体や教育機関などにおいては、パラリンピックのレガシーの 1 つであるパラスポーツを通じた共生社会づくりへの活用が検討されている。また、ボッチャのインクルーシブスポーツとしての特性を活かして交流大会を開催して障がいのある人もない人も共にスポーツを主体的かつ継続的に楽しめる機会の創出につなげる。

2 主催 岩手県、(一社) 岩手県障がい者スポーツ協会

3 後援 (公財) 岩手県体育協会、(公財) 岩手県スポーツ振興事業団 盛岡市スポーツ推進委員協議会、盛岡市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

4 期日/会場

(1) 日時：令和 4 年 9 月 10 日 (土)

(2) 会場：岩手県勤労身体障がい者体育館・パラリーナ (盛岡市青山 4-12-31/TEL019-645-2187)

(3) 日程：受付 12:30/開会式 13:00/予選リーグ 13:10/決勝トーナメント 14:10/閉会式 15:10

5 交流大会について

(1) チームは 2 名以上～6 名以内とし、参加上限は 24 チームとする (申し込み順)。

(2) 参加条件には障がいの有無、年齢・性別、居住地等を問わない。

(3) 予選リーグについて

①最大 8 コートで実施。1 コート 3 チームでリーグ戦を行う。

② 2 エンドマッチとし、同点の場合はファイナルショット方式を採用する。

③順位は勝ち数→得失点→得点率で決定する。

④相互審判制を採用。協議が必要な場合は、主催者に申し出ること。

(4) 決勝トーナメント

①予選リーグ上位 2 チーム。合計 16 チームによるトーナメントを行う。

② 2 エンドマッチとし、同点の場合はファイナルショット方式を採用する。

③試合のないチームが審判をする。

(5) コートについて

使用するコートはミニコート (約 5 m×5 m) を使用する。

6 申込方法及び締切

申込書に必要事項を記入の上、**令和 4 年 9 月 5 日 (月) まで**に以下、申込先まで郵送または FAX、Eメール等によりお申し込みください。

※参加費は無料

※要項・申込書は当協会 HP よりダウンロード可能です (<https://www.iwate-adaptive.or.jp/>)。

7 持参物品 上履き、動きやすい服装、タオル 等

8 その他の留意事項

(1) 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、中止となる場合があります。

(2) 受付時に体温計測を行う他、手指消毒など、感染症防止対策にご協力願います。

(3) 体調チェックシートは当日提出となります。その際、体調不良等が見受けられる場合、参加をお断りすることがありますのでご了承ください。

9 申込先 (問合わせ先)

〒020-0831 盛岡市三本柳 8-1-3 ふれあいランド岩手内

一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会 (担当：三浦、小坂)

TEL 019-637-5055 / FAX 019-637-7626 / E-mail: t-miura@iwate-adaptive.or.jp

インクルーシブスポーツ交流大会『第3回大船渡さんまカップ』開催要項（案）

1 目的

卓球バレーとボッチャは、障がいの程度や年齢・性別に関わらず参加できるインクルーシブスポーツとして注目を集めている。本事業は、卓球バレーと大船渡で盛んに行われているボッチャの競技特性を活かし、障がいのある人もない人も一緒にスポーツを楽しめる環境づくりと共生社会の推進を図ることを目的として開催する。

2 主催 岩手県、（一社）岩手県障がい者スポーツ協会

3 後援（予定）

大船渡市、（一財）大船渡市スポーツ協会、（社福）大船渡市社会福祉協議会、（社福）大洋会
大船渡市スポーツ推進委員協議会、大船渡市老人クラブ連合会
岩手県特別支援学校連絡協議会、（一社）岩手県理学療法士会、（一社）岩手県作業療法士会

4 開催会場 大船渡市民体育館・メインアリーナ 〒022-0003 大船渡市盛町字中道下 1-1 / TEL 0192-27-1001

5 開催期日及び日程（参加チーム数により日程を調整する場合があります。）

期日：令和4年12月4日（日）

時 間	内 容
9：30～9：55	受 付
10：00～10：10	開会式
10：15～12：15	午前の部（卓球バレー）
12：15～13：00	昼食・休憩
13：00～15：00	午後の部（ボッチャ）
15：10～15：25	閉会式



今回から卓球バレーとボッチャをやりますよ～

銀河連邦サンリクオオフナト共和国
PR キャラクター「おおふなトン」

6 競技規則及び組合せ抽選について

卓球バレーは、2022年改訂版日本卓球バレー競技規則及び本大会申し合わせ事項による。ボッチャについては、日本ボッチャ協会競技規則に基づき、ルールを緩和して行う。また、組合せは、主催者により事前に行う。

7 参加資格

スポーツをする上で健康上の問題がない方。また、障がいの有無、年齢、性別は問わない。

8 卓球バレー交流戦（午前の部）

（1）申込クラスについて

- ①さんまクラス／競技を目的の中心とし、スポーツ交流を含めたクラス
- ②つばきクラス／競技性よりも親睦・交流が目的の中心となるクラス
- ③ころ柿クラス／「これから卓球バレーを始めたい」「試合経験が少ない」等の方のクラス。

（2）チーム登録について

- ①登録数の目安はさんまクラス16チーム、つばきクラス8チーム、ころ柿クラス若干数とするが、参加チーム数によりクラスを調整・統合する場合がある。
- ②1チームの選手登録は役員（監督、コーチ）を除き、最大12名までとする。選手が役員を兼任できる。

（3）試合は、1セット11点の2セットのみ実施。順位は勝ち点制とし、勝ちが3点、引き分け1

点、負け0点とする。順位は勝ち点>直接対戦の勝敗>得点率とする。

9 ボッチャ団体戦（午後の部）

- (1) チームは2名以上～6名以内とし、参加上限は32チームとする（申し込み順）。
- (2) 予選リーグについて
 - ①最大8コートで実施。1コート3～4チームでリーグ戦（リンク戦の場合あり）を行う。
 - ②2エンドマッチとし、同点の場合はファイナルショット方式を採用する。
 - ③順位は勝ち数→得失点→得点率で決定する。
 - ④相互審判制を採用。協議が必要な場合は、主催者に申し出ること。
- (3) 決勝トーナメント
 - ①予選リーグ上位チームによるトーナメントを行う。
 - ②2エンドマッチとし、同点の場合はファイナルショット方式を採用する。
 - ③相互審判制を採用。協議が必要な場合は、主催者に申し出ること。
- (4) コートについて
使用するコートはミニコート（おおむね5m×5m）を使用する。

10 服装等

運動に適した服装で参加すること。手拭き、上履きをご持参ください。

11 表彰

各種目1位～3位までの入賞チームには賞状を授与する。

12 健康・安全管理（保険加入）

大会出場にあたっては、事前に医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康及び安全に十分留意すること。なお、主催者においてはレクリエーション保険に一括加入する他、応急処置のみを行うものし、それ以上の処置を要する場合は各チームで対応することとする。

13 弁当申込について

当日の弁当希望は、参加申込書に記入してください（1個600円税込・お茶付き）。なお、参加申込書が卓球バレー用とボッチャ用があるので重複しないようご留意願います。

14 その他の留意点

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大状況により、中止または内容変更となる場合があります。
- (2) 受付時に体温計測を行う他、手指消毒など、感染症防止対策にご協力願います。
- (3) 過去2週間または当日の体調不良がある方は、参加をお控え願います。
- (4) 当日の検温等の結果により、参加をお断りすることがありますのでご了承ください。
- (5) 換気及び用具消毒のため、試合を中断する場合があります。

15 申込方法

出場を希望する種目の参加申込書に必要事項を記載の上、郵送、FAX、Eメール等により以下まで申込むこと。2種目出場を希望する団体はそれぞれの参加申込書をご提出願います。また「体調チェックシート」は当日、受付にご提出願います。

- (1) 申込締切 令和4年11月28日（月）
- (2) 申込先 〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳8-1-3
一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会
TEL：019-637-5055／FAX：019-637-7626
E-mail：t-miura@iwate-adaptive.or.jp



令和4年度インクルーシブスポーツ推進事業
岩手県卓球バレー交流大会 2022 開催要項

1 目的

2016年希望郷いわて大会においてオープン競技として実施した卓球バレーは、障がいの程度や年齢・性別に関わらず参加できるインクルーシブスポーツとしての大きな可能性を示した。本大会は、卓球バレーの特性を活かし、障がいのある人もない人も共にスポーツを楽しめる環境づくりを目指すとともに、共生社会の推進を図ることを目的として開催する。

2 主催 岩手県、(一社)岩手県障がい者スポーツ協会

3 主管 岩手県卓球バレー交流大会実行委員会

4 後援(予定)

(公財)岩手県体育協会、(社福)岩手県社会福祉協議会、(社福)岩手県社会福祉事業団
 (一社)岩手県理学療法士会、(一社)岩手県作業療法士会、岩手県特別支援学校連絡協議会
 (NPO)岩手県レクリエーション協会、岩手県スポーツ推進委員協議会
 岩手県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、岩手県障がい者社会参加推進センター

5 開催会場 ふれあいランド岩手・体育館及びふれあいホール

6 開催期日及び日程(予定~参加チーム数により日程を調整する場合があります。)

期日：令和4年10月16日(日)

時 間	チャレンジ&わんこクラス	体験クラス
9:30~9:55	受付	受付
9:45~9:55	代表者会議(組合せ抽選会)	
10:00~10:10	開会式	開会式
10:15~12:15	午前の部(30分×4試合)	午前の部
12:15~13:00	昼食・休憩	昼食・休憩
13:00~15:00	午後の部(30分×4試合)	午後の部
15:10~15:25	閉会式	閉会式



7 競技規則及び組合せ抽選について

本大会は、最新版の日本卓球バレー競技規則及び本大会申し合わせ事項による。

8 参加資格

スポーツをする上で健康上の問題がない方。また、障がいの有無、年齢、性別は問わない。椅子に座ってプレーをするため、チャレンジクラスとわんこクラスにおいて身長は140cm以上が望ましい(ただし、身長が低い場合は座布団等の使用可/体験クラスは身長を問わない)。

9 申込クラスについて(参加申込書に選択欄があります)

①チャレンジクラス/競技を目的の中心とし、スポーツ交流を含めたクラス

②わんこクラス/競技性よりも親睦・交流が目的の中心となるクラス

③体験交流クラス/「これから卓球バレーを始めたい」「経験が浅い」「試合の自信がない」等の方のクラス。午前または午後のみでの参加も可能。参加申込書の「午前の部」「午後の部」「1日参加」を

選択してください。

10 チーム登録／登録料（参加料）は無料とする

①登録数の目安はチャレンジクラス 18 チーム、わんこクラス 6 チーム、体験クラス若干数とするが、参加チーム数によりクラスを調整・統合する場合がある。

②1チームの選手登録は役員（監督、コーチ）を除き、最大 12 名までとする。選手が役員を兼任できる。

11 競技方法（予定）

①チャレンジクラスとわんこクラスは予選リーグ、決勝トーナメントを行う。

②予選リーグは1セット 15 点の2セットのみ実施。順位は勝ち点制とし、勝ちが3点、引き分け1点、負け0点とする。順位は勝ち点>直接対戦の勝敗>得点率とする。

③トーナメントは1セット 11 点の3セットマッチとする。

④体験クラスは出場チーム数に応じて組合せを作成。他クラスとの交流試合を行う場合がある。

12 服装

スポーツに適した服装であること。統一した色・模様のユニホーム（Tシャツ、ポロシャツ可）の着用を推奨する。また、ゼッケン、ビブス等により代用するのも良い。

13 表彰

各クラスの上位3位を表彰する。入賞チームには賞状を授与する。
体験クラスにも参加賞などを準備する予定。



14 健康・安全管理（保険加入）

大会出場にあたっては、事前に医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康及び安全に十分留意すること。なお、主催者においてはレクリエーション保険に一括加入する他、応急処置のみを行うものし、それ以上の処置を要する場合は各チームで対応することとする。

15 弁当申込について

当日の弁当希望は、参加申込書に記入してください（1個 650 円税込・お茶付き）。

16 その他の留意点

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大状況により、中止または内容を変更する場合があります。
- (2) 受付時に体温計測を行う他、手指消毒など、感染症防止対策にご協力願います。
⇒会場には、正面玄関にサーモグラフィカメラを設置しておりますのでご利用願います。
- (3) 過去2週間または当日の体調不良がある方は、参加をお控え願います。
- (4) 当日の検温等により、受付にて参加をお断りすることがありますのでご了承ください。
- (5) 換気及び用具消毒のため、試合を中断する場合があります。

17 申込方法

別紙申込書により、次のとおり申し込むこと。また、「事業参加時の体調チェックシート」は当日、受付にご提出願います。

①申込締切 令和4年 10月 12日（水）

②申 込 先 〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳 8-1-3
一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会
TEL：019-637-5055／ FAX：019-637-7626
E-mail：t-miura@iwate-adaptive.or.jp



卓球バレー久慈交流大会（あまちゃんカップ）実行委員会
第1回実行委員会次第

日時 令和4年7月19日（火）16：00～17：00

場所 久慈市情報交流センターYOMUNOSU 多目的室

1 開 会

2 挨 拶

岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課

3 実行委員紹介

4 審 議

（1）実行委員会設立趣旨（案）

（2）実行委員会設置要綱（案）

5 役員選出

6 協 議

（1）実行委員会事業計画（案）

（2）卓球バレー久慈交流大会2022（第4回あまちゃんカップ）実施要項（案）

（3）その他

7 閉 会

卓球バレー久慈交流大会（あまちゃんカップ）実行委員会設置要綱

（名称）

第1条 この会は、卓球バレー久慈交流大会（あまちゃんカップ）実行委員会（以下「本会」という。）と称する。

（目的）

第2条 本会は、卓球バレーの普及振興を通して人種、信条、障がいの有無や年齢、性別等に関わらず交流できる地域コミュニティ形成に寄与するとともに地域の安全・安心な暮らしの具現化と共生社会づくりを推進することを目的とする。

（事業）

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- （1）卓球バレーの普及活動に関する事業
- （2）卓球バレー指導者の育成に関する事業
- （3）卓球バレーの普及を通じた共生社会づくり推進に関する事業
- （4）卓球バレー大会の開催に関する事業

（組織）

第4条 本会に次の役員を置く。

- （1）委員長 1名
- （2）副委員長 若干名
- （3）委員 若干名

2 委員長及び副委員長は、委員の互選とする。

3 委員は別表に掲げる機関または団体を持って組織し、今後、第3条の目的達成に向けて順次賛同者を募り、本会における協議により随時、委員を追加できる。

4 本会にオブザーバーを置くことができる。

（職務）

第5条 委員長は本会を代表し、会務を総括する。

2 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故等がある場合または委員長が不在の場合、その職務を代行する。

（会議）

第6条 本会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、議長は委員長がこれにあたる。

（事務局）

第7条 本会の事務局は一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会に置く。

（解散）

第8条 本会は、目的が達成されたときに解散する。

（補足）

第9条 この要綱に定めるもののほか、本会の運営に際し、必要な事項は別に定める。

附則 この要綱は令和4年7月19日から施行する。

別表

団体名
久慈市
久慈市教育委員会
(社福)久慈市社会福祉協議会
久慈地域卓球バレー協会
久慈市身体障害者協議会
久慈市スポーツ推進委員協議会
大川目まちづくり協議会
(一社)岩手県障がい者スポーツ協会

卓球バレー久慈交流大会(あまちゃんカップ)実行委員会名簿			
役職	氏名	性別	所属・役職
実行委員長	藤井 公博	男	(一社)岩手県障がい者スポーツ協会 会長
副委員長	新里 周一	男	久慈地域卓球バレー協会 会長
副委員長	久保 繁明	男	久慈市スポーツ推進委員協議会 会長
実行委員	立成 勝夫	男	久慈市身体障害者協議会 会長
実行委員	工藤 仁	男	久慈市教育委員会生涯学習課 課長
実行委員	古山 誠	男	久慈市生活福祉部社会福祉課 課長
実行委員	日當 光男	男	久慈市社会福祉協議会 会長
実行委員	小倉 利之	男	大川目まちづくり協議会 顧問
実行委員	類家 勉	男	久慈地域卓球バレー協会 副会長
実行委員	竹高 雄治	男	久慈地域卓球バレー協会 副会長
実行委員	林崎 洋子	女	野田村スポーツ推進委員協議会
オブザーバー	岩城 元	男	岩手県会議員
オブザーバー	橋本 大佑	男	(一社)コ・イノベーション研究所 代表理事
事務局	菊池 大輔	男	岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課 主査スポーツ振興専門員
事務局	三浦 拓朗	男	(一社)岩手県障がい者スポーツ協会 事務局長
事務局	小坂 亜純	女	(一社)岩手県障がい者スポーツ協会 事務局員

卓球バレー久慈交流大会 2022（第4回あまちゃんカップ）開催要項

1 開催趣旨

障がいの有無、年齢性別を問わずに楽しむことができるインクルーシブスポーツとして注目される卓球バレーの交流大会の開催を通して総市民参加によるスポーツ交流を図り、スポーツ参加の環境整備と地域における共生社会づくりの推進に寄与することを目的とする。

2 主催 岩手県、(一社)岩手県障がい者スポーツ協会

3 主管 卓球バレー久慈交流大会（あまちゃんカップ）実行委員会

4 後援

久慈市、久慈市教育委員会、(社福)久慈市社会福祉協議会、久慈市身体障害者協議会
久慈市スポーツ推進委員協議会、(一社)久慈市体育協会

5 会場 久慈市民体育館1階メインアリーナ / (久慈市新中の橋 4-13-3 / TEL0194-61-3353)

6 開催日程 令和4年10月9日(日)

時間	内容
9:30~9:50	受付
9:50~10:05	開会式
10:10~12:10	競技(午前の部)
12:10~13:00	昼食・休憩
13:00~15:00	競技(午後の部)
15:10~15:20	閉会式

※参加チーム数により、日程を調整する場合があります。



久慈市の観光PRキャラクター「アマリン」

7 競技規則

本大会は、日本卓球バレー競技規則(最新版)及び本大会申し合わせ事項による。

8 参加資格

障がいの有無、年齢性別を問わない。ただし、障がい者スポーツ振興の観点から申込数多数の場合は、障がいのある方を主構成とするチームを優先する場合がある。また、地域・国籍を問わずに参加できることとする。

9 参加費 無料

10 申込クラス及び募集チーム数等

(1) 申込クラス(参加申込書に選択欄があります)

クラス名	説明	募集数
あまちゃんクラス	競技を目的の中心とし、チームの技術力を競うことを希望するチーム等	16チーム
琥珀クラス	勝敗よりも親睦や交流を目的とするチーム。試合経験を重ね、チームの技術力を向上を希望するチーム等	8チーム
まめぶクラス	競技経験が少ないが(未経験含む)、卓球バレーに関心のあるチーム。また、諸事情により、参加時間が限られるチーム等	8チーム

(2) 募集チーム数 32チーム(最大)

- (3) 選手登録は役員（監督、コーチ）を除き、最大 10 名までとし、選手が役員を兼任できる。
- (4) 必要に応じて介助者等を追加することができる。

12 競技方法（予定）

- (1) 午前中の競技は、1 セット 15 点の 2 セットのみ行う。
- (2) 各クラスの申込チーム数により、リーグ戦（リンク戦）、トーナメント戦、交流戦を行う。
- (3) リーグ戦（リンク戦）は 1 セット 15 点の 2 セットのみ実施する。
- (4) トーナメント戦は 1 セット 11 点の 2 セット先取で勝敗を決する。
- (5) リーグ戦（リンク戦）の順位は勝ち点制とし、勝ちが 3 点、引分けが 1 点、負けが 0 点とし、勝ち点が並んだ場合は、直接対戦の勝敗により、直接対戦がない場合は得点率による。

13 服装・準備品等

- (1) 運動に適した服装であること。背番号等は不要。
- (2) 上履き、タオル、ハンカチ等をご持参ください。

14 表彰

各クラスの上位 3 チームを表彰する。入賞チームには賞状及び記念品等を授与する。

15 傷害保険の加入

各選手は健康・安全管理に十分配慮するものとし、主催者においては、参加選手及び役員・ボランティアの普通傷害保険（レクリエーション保険）に加入する。

16 留意事項

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、中止となる場合があります。
- (2) 当日、受付時に体温計測を行う他、手指消毒など、感染症防止対策にご協力願います。
- (3) 体調や感染リスクの有無により、参加をお断りする場合がありますのでご了承ください。
- (4) 飲食及び水分補給時以外は、競技中を含めてマスクを着用すること。

17 申込方法

(1) 提出書類

①参加申込書及び②体調チェックシート（※）

※体調チェックシートは当日に受付にご提出願います。

(2) 申込締切 令和 4 年 10 月 5 日（水）

(3) 申込先 〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳 8-1-3
一般社団法人 岩手県障がい者スポーツ協会
TEL：019-637-5055／ FAX：019-637-7626
E-mail：t-miura@iwate-adaptive.or.jp



第1回岩手県 ボッチャ交流大会



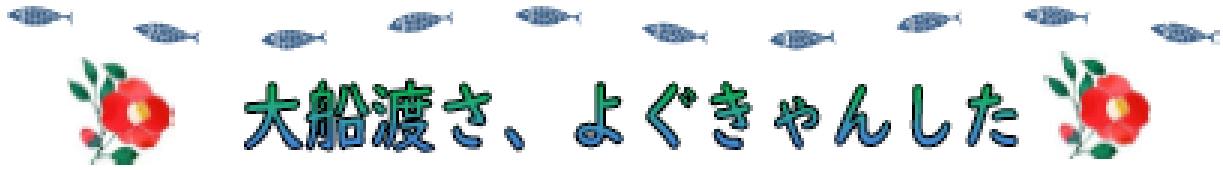
期日：令和4年9月10日（土）

会場：岩手県勤労身体障がい者体育館

主催 岩手県・一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会
後援 公益財団法人岩手県体育協会
公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団
盛岡市スポーツ推進委員協議会
盛岡市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会



主管 岩手県ボッチャ交流大会実行委員会



大船渡さ、よぐきやんした



卓球パレー&ポツ千ゃ大船渡交流大会 2022



第3回 大船渡 さんまカップ

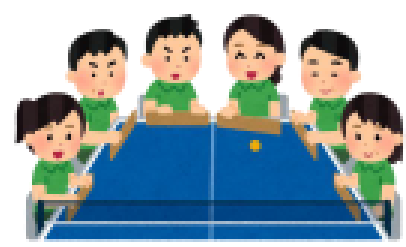
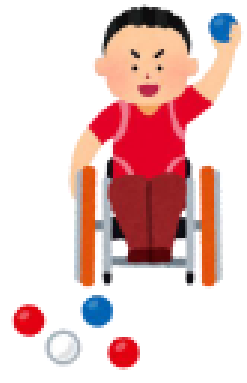


楽しんでケロー！

期日：令和4年12月4日（日）

会場：大船渡市民体育館

主催 岩手県、(一社)岩手県障がい者スポーツ協会
 後援 大船渡市、(一財)大船渡市スポーツ協会、(社福)大船渡市社会福祉協議会
 (社福)大洋会、大船渡市スポーツ推進委員協議会、大船渡市老人クラブ連合会
 岩手県特別支援学校連絡協議会、(一社)岩手県理学療法士会
 (一社)岩手県作業療法士会



岩手県連邦サンリクオオフナト共和国
のキャラクター「おおふなトン」





2019茨城



2022栃木



2016岩手



2011山口



2018福井



2008大分



2015和歌山



主 催 岩手県、(一社)岩手県障がい者スポーツ協会
運営協力 岩手リハビリテーション学院

卓球バレー久慈交流大会 2022 第4回あまちゃんカップ



※国籍、障がいの有無、年齢・性別を問わない『オールフリー』ルールを適用！

開会式 9:50~/競技 10:15~(防災講習 13時~/閉会式 14:30~

期日
R4.10.9
(日)



会場
久慈市民体育館
メインアリーナ

久慈市の観光 PR キャラクター「アマリン」

- 主催 岩手県、(一社)岩手県障がい者スポーツ協会
- 主管 久慈地域卓球バレー協会・岩手県卓球バレー協会
- 後援 久慈市、久慈市教育委員会、(社福)久慈市社会福祉協議会
久慈市身体障害者協議会、久慈市スポーツ推進委員協議会
(一社)久慈市体育協会

